

製品含有化学物質の管理および情報伝達・開示に関するガイダンス

－ 電線・ケーブル版 －

附属書
AIS 作成マニュアル
(第5版)

2012 年 1 月 25 日

社団法人日本電線工業会
一般社団法人 電線総合技術センター
「化学物質規制調査研究会」

目 次

1.	情報収集	1
2.	既存情報のバージョン確認、および最新情報入手	1
3.	情報の入力	2
3-1.	AIS 入力支援ツールの起動	2
3-2.	一般情報シート	5
3-3.	一般情報シートの操作	9
3-4.	成分表シート	11
3-5.	成分表シートの操作	17
3-6.	成分表シートの選択画面	22
3-7.	依頼者情報シート	26
3-8.	動作設定シート	26
3-9.	複合化シート	28
4.	AIS の提出・保管・維持	30
5.	関連文書	30
改訂履歴		31

1. 情報収集

AIS に記述する情報を収集するため、対象製品に関する下記書類を入手する。

①製品(電線)設計書、図面、部品表など

対象製品の構造、使用材料、使用量を把握する。

※原材料、電線用部材、接続用部材等、当該製品に使用される全ての構成材料を対象とする。

②各使用材料の MSDS、MSDSplus または AIS

材料毎の MSDS、MSDSplus または AIS を入手し、報告物質および含有量を把握する。

③外注品がある場合は、その部分の AIS

外注工程で製造された部品に含まれる報告物質と含有量を把握する。

2. 既存情報のバージョン確認、および最新情報入手

①”JAMP AIS 入力支援ツール”の最新版を常に確認し入手するとともに、改訂内容を把握する事。

②既存情報(川上メーカーから入手した MSDSplus や AIS、過去に作成した AIS 等)を流用する場合、使用された”JAMP 管理対象物質リスト”のバージョンを確認する事。最新版と異なる場合、「川上メーカーに内容を確認する」、「”物質リスト”の改訂箇所を確認し、最新版に基づいた MSDSplus や AIS の提出要求の要否を検討する」、等の対応を行なう事。

③JIG、GADSL の規制の改訂内容に関しても十分に内容を確認すること。

[解説]

”JAMP 管理対象物質リスト”は「新たに SVHC が追加された」、「法令が改訂され対象物質が変更された」等により改訂されます。これにより、既存の MSDSplus や AIS に使用された”物質リスト”の内容が最新版とは異なる場合が発生します。このような場合、既存の MSDSplus や AIS をそのまま使用すると、必要な物質含有情報が欠落する可能性があります。

このような不具合を防止するため、”JAMP AIS 入力支援ツール”は常に最新版を使用するとともに、”物質リスト”の改訂内容を把握する必要があります。更に必要であれば、川上メーカーに確認し MSDSplus や AIS の再提出を要求することが必要です。

3. 情報の入力

3-1. AIS入力支援ツールの起動

(1) 外部リストの配置

入力支援ツールはVer.4.0 より、物質／材質／各種該当法令の適用除外等のリストが外部ファイル化されているため、単独では動作しない。

JAMPのWEBサイトで配布されている外部リストファイルを、入力支援ツールと同じフォルダに配置すること。物質リストが改訂された場合には、外部リストの更新版が配布されるので、常に最新版を使用するよう留意のこと。

外部リストの標準的なファイル名は、「JAMP_MSDSplus_AIS_EXLIST_{改訂日付}」である。

(2) マクロの有効化

Microsoft Excel のマクロ機能により動作するために、マクロの実行を有効化する必要がある。

①Excel2002、2003 の場合

Excel のメニュー[ツール(T)]→メニュー[マクロ(M)]→メニュー[セキュリティ(S)]→[セキュリティレベル]ページでレベルを中に設定し、本ツールを起動させる。

最初に出てくる画面で、[マクロを有効にする(E)]をクリックする。

②Excel2007 の場合

本ツールを起動させると、Excel のメニューの下(画面の上部の帯)にセキュリティの警告の表示が出るので、[オプション]をクリックする。次に、セキュリティオプションの画面が表示されるので、[このコンテンツを有効にする]を選択する。

③Excel2010 の場合

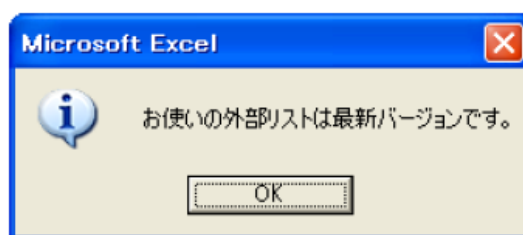
本ツールを起動させると、Excel のメニューの下(画面の上部の帯)にセキュリティの警告の表示が出るので、[コンテンツの有効化]をクリックする。

(3) 説明シートの機能選択

JAMP AIS入力支援ツール(4.0版)		
<p>本ツールは、JAMP AIS の閲覧、作成および複合化を支援するツールです。</p> <p>AISをサブライチェン上で初めて作成したり、既存AIS閲覧・編集するための(AIS編集)機能と、入手した複数のAISの情報を元の一つのAISを作成する(AIS複合化)機能が搭載されています。</p> <p>AIS編集を行う場合は、【AIS編集】ボタンを、AIS複合化を行う場合は【AIS複合化】ボタンをそれぞれクリックして実行してください。</p> <p>尚、それぞれの記入にあたっては、JAMPのWEBサイトに掲載されている作成手順書、ツール操作説明書をご覧ください。</p>		
AIS編集	AIS複合化	
ツールの起動について		
<p>本ツールの動作環境は以下の通りです。</p> <p>Windows XP SP3以降 Excel 2002 SP3以降 表示画面 1024 × 768 ドット以上</p> <p>本ツールの正常動作には、Excelマクロが有効となっている必要があります。 Excel2003以前の標準的な環境では、起動時にマクロ有効化の有無を確認されますので、有効を選択してください。 Excel2007以降の環境をお使いの場合、起動時にマクロが自動的に無効化されている場合があります。 お使いの環境に合わせてマクロを有効化してください。</p>		
外部リストについて		
<p>本ツール(バージョン4)は、物質/材質/各種該当法令の適用除外等のリストを外部ファイル化したため、単独では動作しません。 JAMPのWEBサイトで配布されている外部リストファイルを本ツールと同一フォルダに配置してください。 (標準的なファイル名は「JAMP_MSDSplus_AIS_EXLIST_[改訂日付].xls」です。配置する際、ファイル名を変更しないでください。) 外部リスト内のバージョンは下記欄に表示されています。 物質リスト改訂の際には外部リストの最新版が配布されますので、常に最新版を使用することを推奨します。</p> <p>【最新版を確認】ボタンもしくは起動時に自動でJAMPのWEBサイトをチェックし、最新版が配布されているか確認できます。 (起動時の自動確認は動作設定シートで無効化できます)</p>		
外部リスト	材質リスト	2.00
	物質リスト	3.000

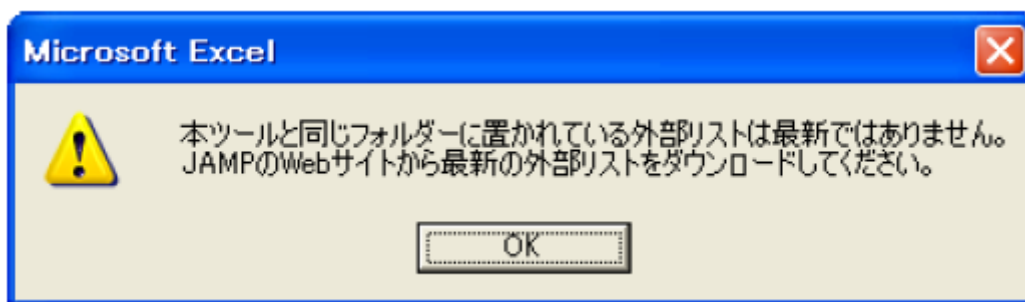
(4) 外部リストバージョンの確認

インターネットに接続可能な状態で入力支援ツールを起動した場合、外部リストの状態により以下のダイアログが表示される。



これは、同じフォルダに配置された外部リストファイルが最新かどうかを、JAMP の WEB サイトで確認した結果を表示しているものである。

新しい外部リストがリリースされている場合は、下記のようなダイアログが表示されるので、JAMP の WEB サイトより、最新版の外部リストを入手し、同じフォルダに再配置後、ツールを再起動させる。



(5) 作業モード選択

AIS説明シート中の「AIS編集」ボタンと「AIS複合化」ボタンで、いずれかの機能を使用するのかわを選択するボタンである。

このボタンを押下すると、それぞれの機能で使用するシートが出現する。



①編集モード

「AIS編集」ボタンを選択することで、編集モードに移行。新規AISの作成、既存AISの参照及び編集を行うことができる。

②複合化モード

「AIS複合化」ボタンを選択することで、複合化モードに移行。既存AISの複合化はこのモードで行う。

(注) AISを編集してから複合化するなど捜査中にモードを切り替えるときには、説明シートに戻ってから再度このボタンを選択して切り替える。

(6) 言語モードの切り替え

本ツールは日本語、英語及び中国語に対応。

別の言語で使用したい場合には、編集モードを選択した後、「動作設定シート」にて、使用する言語に切り替える。

3-2. 一般情報シート

AISの一般情報を入力するシート。

* 印がついている項目は必須項目。必須項目が未入力の場合、入力セルがオレンジ色で表示される。項目が灰色の箇所はツールで自動設定されるので、作成者による編集はできない。

XML読込	太枠内をご記入ください。 * 印のある欄は必須入力です
一般情報を初期化	

1. AISに関する情報

リスト	使用書式	Ver.4.0
	材質リスト	2.00
	物質リスト	3.000
GPシートID		9999999999999999
シート整理番号		
初版	発行日付 *	2012-01-20
改訂	改訂日付	
	改訂履歴 *	1

2. 発行者会社情報

		ひな形から読出
会社名	英字表記 *	JAPAN ELECTRIC CABLE TECHNOLOGY CENTER
	母国語表記	一般社団法人電線総合技術センター
会社ID	登録機関ID	
	企業ID	
発行部門	部門名 *	研究開発グループ
	住所 *	浜松市北区新都田一丁目4番4号
	電話番号 *	053-428-4689
	FAX番号	053-428-4690
作成部門	メールアドレス	ogata@jectec.or.jp
	部門名	
	電話番号	
		追加情報

3. 成形品情報

製造者会社名 *		一般社団法人電線総合技術センター
一般商品名 *		電源コード、コネクタ付(1m)
発行者型番	英字表記 *	VCTF 3X0.75SQ-1m and Cord Sets
	母国語表記	VCTF 3cx0.75SQコネクタ付(1m)
複数品名・シリーズ品名		
発行者備考		AIS Ver 4.0 初版見本

4. 組成成分情報(成形品)

成形品	報告単位 *	個
	質量 *	113.11
	質量単位 *	g
組成成分情報に関する宣言 *		1. 本製品は、記載のとおり報告物質該当法令等に該当する物質の含有を確認しております
材質質量総計		集計
GADSL		1. GADSLを対象とする
JIG		1. JIGを対象とする

5. その他の情報

引用文献・制約/注意事項	
--------------	--

(1) AISに関する情報

1. AISに関する情報

		使用書式	Ver.4.0
リスト		材質リスト	2.00
		物質リスト	3.000
		GPシートID	9999999999999999
		シート整理番号	
	初版	発行日付 *	2012-01-20
	改訂	改訂日付	
		改訂履歴 *	1

①使用書式

編集中の AIS の書式バージョン(Ver.4.0)。

旧版のAISを読み込むと、Ver.3.1 以前の書式バージョンが表示されるが、物質情報更新をおこなうことにより、新書式に変換出力するものとみなされ、書式バージョンも Ver.4.0 に更新される。

②リスト／材質リスト、物質リスト

読み込んでいるAISの材質リスト、物質リストのバージョン。

読み込んだAISのバージョンが表示されるが、物質情報更新をおこなうことにより、新書式に変換出力するものとみなされ、書式バージョンも Ver.4.0 に更新される。

③初版／発行日付

AISを最初に編集した年月日を記入する。

([一般情報を初期化]ボタンで初期化した際に、自動的に当日の日付が入る。)

④改訂／改訂日付、改訂履歴

改訂日付には、AISを改訂した最新の改訂年月日を記入する。

改訂済の場合(改訂履歴が 1 以外の場合)には、入力必須。

改訂履歴には、改訂版数を整数で記入。(初版の場合は 1、以降改訂ごとに 2、3 と大きくした数値を記入)

(2) 発行者会社情報

AISを発行した会社の情報を記入。

2. 発行者会社情報

		ひな形から読出
会社名	英字表記 *	JAPAN ELECTRIC CABLE TECHNOLOGY CENTER
	母国語表記	一般社団法人電線総合技術センター
会社ID	登録機関ID	
	企業ID	
発行部門	部門名 *	研究開発グループ
	住所 *	浜松市北区新都田一丁目4番4号
	電話番号 *	053-428-4689
	FAX番号	053-428-4690
	メールアドレス	ogata@jectec.or.jp
作成部門	部門名	
	電話番号	
追加情報		

①会社名／英字表記、母国語表記

英字表記の項目は、半角の英数、記号文字のみが入力可能。

母国語表記は旧版と同じく、日本語やその他の言語表記での発行会社名を入力。

(旧版AISを読み込んだ際、従来の発行会社名は英字表記の項目に読み込まれるが、日本語などが含まれている場合、そのままでは出力エラーとなるので、旧版からの更新時には、母国語表記に転記し、英字表記欄を別途記入するようにする。)

②ひな形から読出

「ひな形から読出」ボタンを押下すると、「動作設定」シートの“B.発行者会社情報ひな形”欄に記載されている内容がコピーされる。発行者会社情報は複数のAISで繰り返し同じ情報を入力することがおいため、この機能を利用すると効率よくAISを作成できる。

(3) 成形品情報

3. 成形品情報

製造者会社名 *		一般社団法人電線総合技術センター
一般商品名 *		電源コード、コネクタ付(1m)
発行者型番	英字表記 *	VCTF 3X0.75SQ-1m and Cord Sets
	母国語表記	VCTF 3cx0.75SQコネクタ付(1m)
複数品名・シリーズ品名		
発行者備考		AIS Ver 4.0 初版見本

①発行者型番／英字表記、母国語表記

英字表記は半角の英数あるいは記号文字が入力可能。

母国語表記は旧版と同じく、日本語やその他の言語表記での発行者型番を入力する。

(注)旧版AISを読み込んだ際、従来の発行者型番は英字表記の項目に読み込まれる。旧版の発行者型

番には一部の記号が入力できなかったが、Ver.4.0以降では半角であればスラッシュ(／)等の記号文字も入力可能となった。

なお、発行者型番の英字表記はXML出力の際にファイル名の一部として使用されるが、ファイル名として使用できない記号文字は、ファイル名の上では「_」に変換される。

例. 型番が「JAMP/SMPL001」のとき、ファイル名には「JAMP__SMPL001」が含まれる。

(4) 組成成分情報(成形品)

4. 組成成分情報(成形品)

成形品	報告単位 *	個
	質量 *	113.11
	質量単位 *	g
組成成分情報に関する宣言 *		1. 本製品は、記載のとおり報告物質該当法令等に該当する物質の含有を確認しております
材質質量総計		集計
GADSL		1. GADSLを対象とする
JIG		1. JIGを対象とする

①成形品／報告単位

報告単位は選択入力式なので、入力候補のリストから選択する。

②成形品／質量、質量単位

質量は 0.0001～99999.9999 の範囲の数値を記入。

質量単位は選択入力式なので、入力候補リストより選択する。

③組成成分情報に関する宣言

報告物質該当法令等に該当する物質の含有の有無を選択する。

(注)XML 出力時に、成分表の記載内容と矛盾がないかどうかのチェックが行われる。含有を確認しているとしながら成分表にその記載がない場合(またはその逆)、出力時にエラーとして表示される。

④材質質量総計

入力不可項目。「集計」ボタン押下で成分表に入力されている材質情報から、材質質量の総計と成形品中に含まれる割合を計算して表示される。

また、同時に「集計」シートに材質情報集計結果と物質情報結果が表示される。

⑤GADSL、JIG

Ver.4.0 では固定で「対象とする」が必須となる。

(注)旧版読み込み時には読み込んだデータに従って、「対象としない」が表示される場合があるが、Ver.4.0として出力する場合には、「対象とする」に更新する必要がある。

(5) その他の情報

5. その他の情報

引用文献・制約/注意事項	
--------------	--

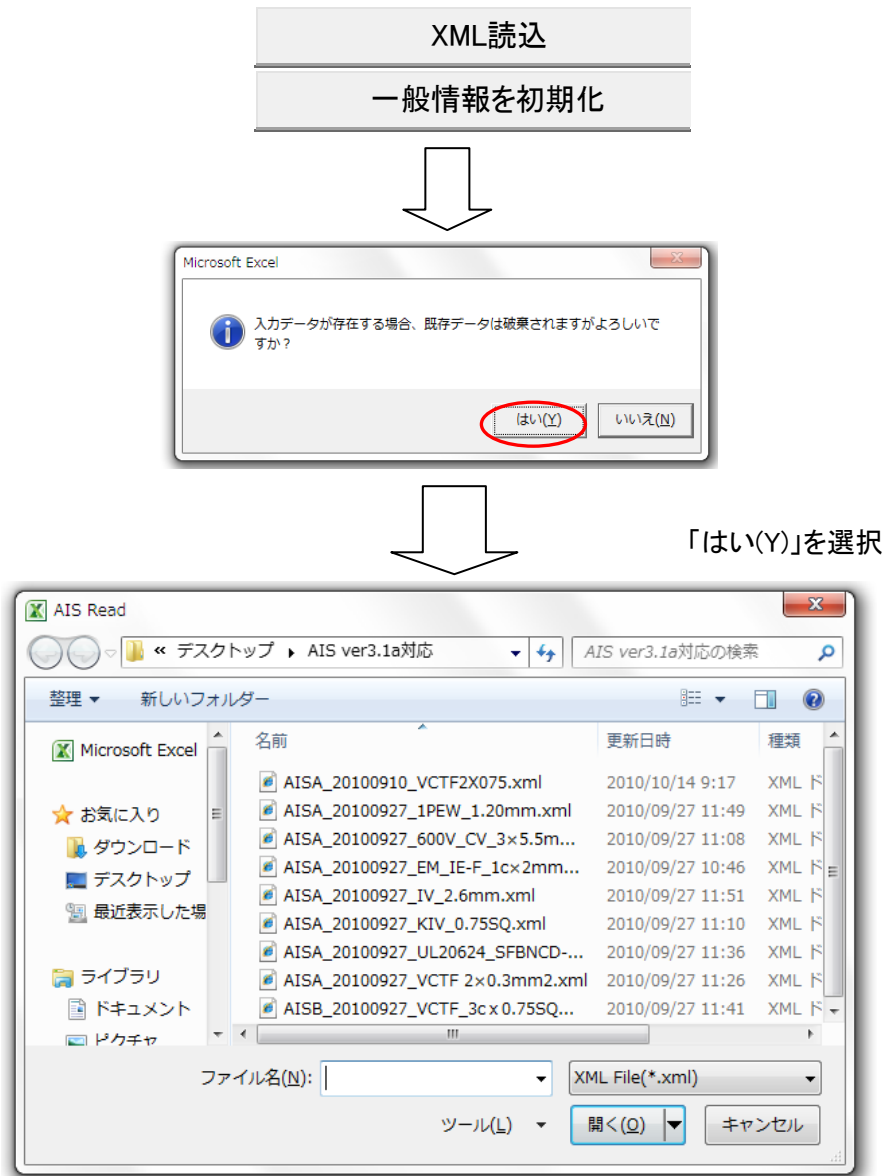
引用文献、制約／注意事項を入力する。

3-3. 一般情報シートの操作

(1) XML 読込ボタン

既存 AIS を読み込む方法。

一般情報シートの XML 読込ボタンを押すと、読込対象の AIS を選択するダイアログが表示され、そのダイアログの中で AIS を指定することで読込が行われる。



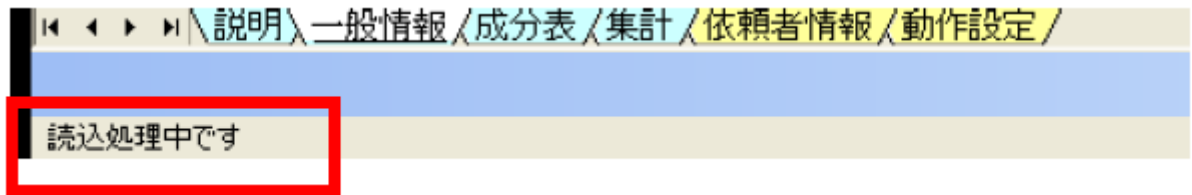
①AIS 入力支援ツールで読込可能なファイル形式

- ・原部品または複合化AIS4.0 のファイル
- ・エラーを含む AIS
- ・一時保存のAIS
- ・旧版のAIS

(注)入力支援ツールは既存AISの参照用ツールとしても利用可能。旧版のAISは単純化AISであっても読込可能となっている。

②XML 割込み処理

成分表の記載行数が多い場合、AIS の読込に時間がかかる場合がある。出力中は左下のステータスバーに読込中であることが表示される。

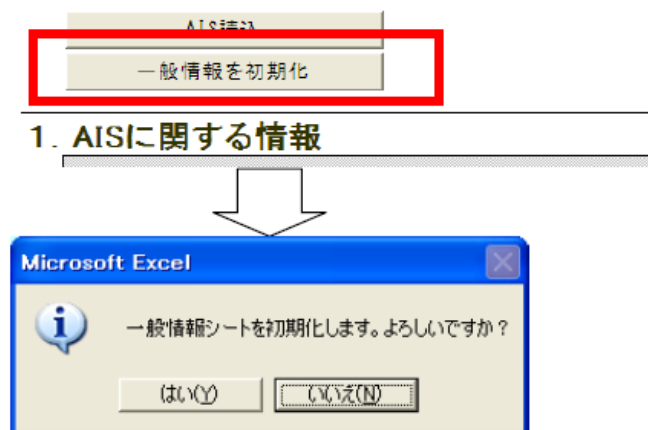


読込終了後、完了メッセージが表示される。

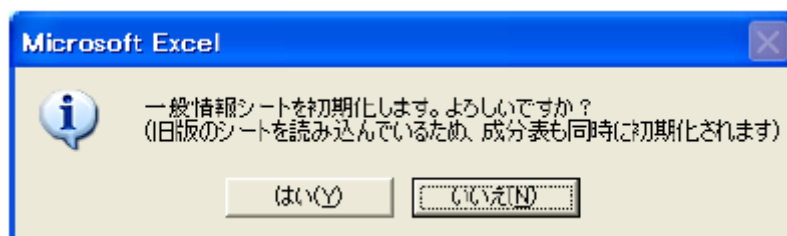
(2) 一般情報初期化ボタン

「一般情報を初期化」ボタンで成分表の入力を全てクリアできる。

入力途中で初期化を行うと内容が消去され、元に戻すことができないので、注意が必要。



旧版 AIS の読み込み時には、一般情報シートだけを初期化することはできず、成分表も初期化される。成分表の内容を残したい場合、先に物質情報の更新をおこなっておく必要がある。



3-4. 成分表シート

* 印がついている項目は必須項目。必須項目が未入力の場合、入力セルがオレンジ色で表示される。項目が灰色の箇所はツールで自動設定されるので、作成者による編集はできない。

4. 組成成分情報(成分表)

成分表初期化		集計							
選択行削除		物質情報更新		エラーチェック		AIS一時保存		AIS出力	

階層		部品		材質					
追加		追加		選択		追加			
名称	員数	名称	員数	用途	分類記号	名称	質量	単位	公的規格

物質								報
選択								追加
公的規格	備考	CAS番号	物質名	含有率	質量	単位	備考	該当

報告物質該当法令等													
SVHC		GHP Annex VI CMR 1,2		ESB PBT		REACH Annex XVII		POPs Annex I		ELV		RoHS	
該当	備考	該当	備考	該当	備考	該当	制限用途	該当	制限用途	該当	適用除外	該当	適用除外

RoHS		GADSL		JOG		任意報告物質	
該当	適用除外	該当	備考	該当	備考	該当	備考

成分表は、階層、部品、材質、物質の段階に分かれたツリー構造で記載する。次ページ以降に各項目の記載要領について説明。

(1) 階層

複合化した成形品の構成を階層として記入する欄。

原部品AISを新規作成する場合には、階層の情報を記載する必要はなく空欄となるが、複合化AISには階層名称・階層員数が記載される。

電線の場合は、原部品なので階層の情報は空欄のままでよい。

階層	
追加	
名称	員数

(注)AIS4. 0から、階層を記入する際には、名称と員数の両方を記載することが必須となった。

①階層の追加

階層欄の[追加]ボタンで、階層単位の行を追加することが可能。

(2) 部品

階層中の最下層部品の情報を記入する欄。

すべてのAISで記載が必須。

部品	
追加	
名称	員数
*	*

①部品の追加

部品欄の[追加]ボタンで、階層単位の行を追加することが可能。

(3) 材質

部品中の材質及びその質量等を記入する欄(同一部品中 50 材質まで記載可能)。

材質用途、分類記号、質量及び質量単位は全てのAISで記載必須。

材質						
選択		追加				
用途 *	分類記号 *	名称	質量 *	単位 *	公的規格	備考

①材質の追加

材質欄の[追加]ボタンで、同一部品内に材質単位の行をお追加することができる。

②材質の選択

材質を入力したいセルを選び、材質欄の[追加]ボタンを押すと材質選択ダイアログが表示される。

選択肢から材質用途および材質を選んで[選択]をクリックすると、選択されていたセルに材質用途・分類記号および名称が入力される。

(キャンセルボタンを押した場合は、成分表への入力なしで画面が閉じる。)

Select Use & MATERIAL

材質用途と材質の選択をしてください。

材質用途

- 1.母材
- 2.被覆
- 3.付着剤
- 4.内包剤(運転用調剤などに適用)
- 5.はんだ接合
- 6.(表面処理系)めっき
- 7.(表面処理系)化成処理
- 8.(表面処理系)溶射
- 9.(表面処理系)PVD処理

Ver.2.00

材質

- R111 高合金鋼
- R112 高合金鑄鉄
- R101 鉄鋼/鑄鉄/焼結合金
- R102 非合金、低合金鋼
- R103 鑄鉄
- R104 片状黒鉛鑄鉄/可鍛鑄鉄
- R105 球状黒鉛鑄鉄 /ハイミキュラー鑄鉄
- R211 鑄造アルミニウム合金
- R212 鍛造アルミニウム合金
- R221 鑄造マグネシウム合金
- R222 鍛造マグネシウム合金
- R311 銅(例ケーブルハーネスの銅)
- R312 銅合金
- R330 亜鉛合金
- R340 ニッケル合金

材質用途: 1.母材

分類記号:

材質名称:

選択 キャンセル

(注) AIS4.0 より、材質用途ごとに選択可能な材質分類が分けられることになった。

(旧版のデータで材質用途と材質分類の対応が採れていなくてもそのまま使用可能。)

(4) 物質

材質中の物質及び含有率等を記載する欄(同一物質中 50 物質まで記載可能)。

物質					
選択		追加			
CAS番号	物質名	含有率	質量	単位	備考

① 物質の追加

物質欄の[追加]ボタンで、同一材質内に物質単位の行を追加することができる。

② 物質の選択

物質を入力したいセルを選択し、物質欄の[選択]ボタンを押すと物質選択ダイアログが表示される。

選択肢から物質を選んで[選択]をクリックすると、選択されていた物質行のCAS番号、物質名称及び法令の該当フラグが入力される。

(キャンセルボタンを押した場合には、成分表への入力なしで画面が閉じる)

物質選択

物質表示絞り込み

絞り込み 解除

EU01 EU04 OT01
 EU02 EU05 IA01
 EU03 EU06 IA02

検索

部分一致
 完全一致

並び替え

Ver. 3.000

CAS	EC No	NAME
10022-31-8	233-020-5	Barium-nitrate
10022-48-7	600-038-3	Chromic acid (H2Cr2O7), dilithium salt, dihydrate
10022-68-1		Cadmium nitrate tetrahydrate; Cadmium nitrate
100231-59-2	309-359-0	Sodium [4-[[6-[(4-amino-6-chloro-1,3,5-triazin-2-yl)amino]-1-hydroxy-3-sulpho-2-naphthyl]azo]-
1002-53-5		Dibutyl tin
10025-68-0	233-037-8	Diselenium dichloride
100258-44-4	309-388-9	Strychnidin-10-one, arsenite (1:1)
10026-03-6	233-053-5	Selenium tetrachloride
10026-17-2	233-061-9	Cobalt(II) fluoride
10026-18-3	233-062-4	Cobalt fluoride (CoF3)
10026-22-9	600-049-3	Cobalt nitrate
10026-23-0	233-064-5	Cobalt(2+) selenite
10026-24-1	600-050-9	Cobalt sulfate heptahydrate
10028-18-9	233-071-3	Nickel fluoride (NiF2)
1002-88-6	213-694-7	Cobalt distearate

CAS: 10022-31-8 EC No.: 233-020-5

物質名[英語]: Barium-nitrate

物質群名[英語]: Barium compounds (organic or water soluble), selected

物質名[日本語]: 硝酸バリウム

物質群名[日本語]: バリウム化合物(有機化合物あるいは水溶性化合物)

EU01[2002/95/EC RoHS] EU04[REACH Annex XVII CMR1,2以外] OT01[ESIS PBT Fulfilled]
 EU02[2000/53/EC ELV] EU05[REACH SVHC in Candidate List] IA01[GADSL]
 EU03[CLP Annex VI CMR 1,2] EU06[POPs] IA02[JIG]

③ 物質用途、適用除外コードの入力

選択した物質によっては、続けて以下の選択画面が表示されることがある。

いずれかの物質の適用用途及び適用除外コードを選択すること。

- ・REACH Annex XVII 物質用途
- ・POPs Annex I 物質用途
- ・ELV 適用除外
- ・RoHS 適用除外

④ 物質含有率の入力

物質選択後、材質中の含有率を入力する。

材質質量が入力済であれば、物質の含有量は自動的に計算される。

物質									
質量	単位	公的規格	備考	GAS番号	物質名	含有率	質量	単位	備考
100.0	g			10022-31-8	Berium-nitrate	20.0%	20.0	g	
				10022-48-7	Chromic acid (H ₂ Cr ₂ O ₇), dihydrate	0.5%	0.5	g	

(5) 報告物質該当法令等

物質選択時、外部リストに保持している物質情報に基づき該当フラグが自動的に入力される。

通常は該当フラグを手動入力する必要はないが、外部リスト内の記載に誤りがあった場合などに備えて発行者自らの知見において該当フラグを手動入力することが許可されている。

報告物質該当法令等									
SVHC		CLP Annex VI CMR 1.2		ESIS PBT		REACH Annex XVII		POPs Annex I	
該当	備考	該当	備考	該当	備考	該当	制限用途	該当	制限用途
		1				1			

ELV		RoHS		GADSL		JIG		任意報告物質	
該当	適用除外	該当	適用除外	該当	備考	該当	備考	該当	備考
				D					
1	2(c)	1	1(b)	D/P		R			

(注) Ver.4.0 で街頭フラグの選択肢の入力ルールが変更されたため、旧版AISを読み込んだ際には、エラーチェックにより入力エラー扱いとなる場合がある。この場合、物質情報更新を行うことにより、選択肢の内容もVer.4.0 に従ったものに更新される。

① SVHC

旧版では該当の場合「1」を入力する形式であったが、入力選択肢が「C」、「A」に変更されている。

- ・C: Candidate List (認可対象物質候補)
- ・A: Authorization (認可対象物質)

② CLP Annex VI CMR1.2

従来通り、「1」を入力する。

③ ESIS PBT

従来通り、「1」を入力する。

④ REACH Annex X VII

備考欄が廃止となり、物質によっては物質用途コードの入力が必要となった(入力必要性の判断は入力支援ツールにより自動判断)。また、一部の管理物質が POPs Annex I に分割されている。

⑤ POPs Annex I

REACH Annex X VII より分割され、新規追加となった。物質により物質用途コードの入力が必要な場合がある。

⑥ ELV

従来通り、該当の場合は「1」を入力。その場合は、適用除外欄の入力が必須。

(「1」が入力された状態で適用除外欄を選択すると、ELV 適用除外入力画面が表示される。)

⑦ RoHS

従来通り、該当の場合は「1」を入力。その場合は、適用除外欄の入力が必須。

(「1」が入力された状態で適用除外欄を選択すると、RoHS 適用除外入力画面が表示される。)

⑧ GADSL

旧版では必要に応じ「P」、「D」、「PD」を入力する形式だったが、入力選択肢が「P」、「D」、「D/P」に変更された。

- ・P: Prohibited (禁止)
- ・D: Declarable (報告)
- ・D/P: 上記P、Dの両方に該当

⑨ JIG

旧版では必要に応じ「A」、「B」を入力する形式だったが、入力選択肢が「B」、「A」、「I」に変更された。

- ・R: Regulated (法規制対象)
- ・A: For Assessment Only (評価用のみ)
- ・I: For Information Only (情報提供用のみ)

⑩ 任意報告物質

上記のすべての該当欄が空白の場合、任意報告物質の該当欄に「1」と記入する。

該当例は下記。

- ・物質リストに記載されていないが、運用上報告が必要であると判断して手入力した物質
- ・物質リストの以前のバージョンでは該当フラグありで記載されていたが、更新に伴い該当フラグの内容が変更され、結果としてどの法令等にも該当しなくなった物質。

3-5. 成分表シートへの操作

成分表初期化		集計							
選択行削除		物質情報更新		エラーチェック		AIS一時保存		AIS出力	
階層 追加	部品 追加	材質							
		選択		追加					
名称	買数	名称 *	買数 *	用途 *	分類記号 *	名称	質量 *	単位 *	公的規格

(1) 成分表初期化ボタン

成分表初期化ボタンで成分表の入力を全てクリアできる。

入力途中で初期化を行うと、内容が消去されて元に復旧できないので注意のこと。

(注)旧版AISでは成分表を空白にして提供することで非含有報告として取り扱うケースがあったが、これは本来AISが想定した運用ではないため、AIS4.0以降は成分表0行のAISは出力エラーとなる。

(2) 選択行削除ボタン

削除ボタンで選択した行が削除される(物質行単位での削除)。

削除した行は元に復旧できないので注意のこと。

(3) 集計ボタン

成形品質量と成分表を入力したら、一般情報シートもしくは成分表シートの[集計]ボタンで集処理を行うことで入力内容からサマリを抽出し、積算した結果を示す。集計処理を行う前に、成形品の質量と単位、成分表の物質含有率が正しく入力されていることを確認する。

成形品	報告単位 *	個
	質量 *	3100
	質量単位 *	g
組成成分情報に関する宣言 *		1. 本製品は、記載のとおり報告物質該当法令等に該当する物質の含有を確認しております
材質質量総計		集計 → 60.5g (19.516129%)
GADSL		1. GADSLを対象とする
JIG		1. JIGを対象とする

4. 組成成分情報 (成分表)

階層	部品	材質
追加	追加	追加
名称	買数	名称
		ねじ
	10.0	ボルト
	1.0	
	1.0	

材質情報集計結果

分類記号	材質名称	質量(g)
R111	高合金鋼	5.0
R106	鋼鉄	50.0
R211	薄板アルミニウム合金	11.2
R311	薄板カーボニウム鋼	43.0
V421	特殊金属(銅)	60.0
V412	その他特殊金属(鉛、パラジウム等)	120.0

物質情報集計結果

CAS番号	物質名	質量(g)	GADSL		JIG		物質中最大濃度	
			該当	成形品中濃度	該当	成形品中	該当	物質中
10331-18-7	Lead arsenite	80.4	-	-	-	-	-	07.2%
100-97-2	Phenylacetylene hydrochloride	20.4	-	-	1	1	-	22.5%

(注)操作を便利にするために、2か所に集計ボタンがあるが、どちらも同じ機能を有している。また、XML出力時にも集計は自動で行われる。

① 材質情報集計結果

組成成分情報に記入されたすべての材質について、材質ごとの総和を計算した結果が表示される。計算は、分類記号の内容に従って行われる。(分類記号の記入がない場合には、計算されない。)

これらの計算では、階層、部品の員数が掛け算された後に合計を出している。

② 物質情報集計結果

SVHC、REACH Annex X VII、RoHs のうち、いずれかに該当する物質について下記方法で計算される。また、それぞれ該当しない法令については「－」が表示される。

- ・SVHC: 該当フラグの内容および成形品質量中の物質濃度(%表記)を表示
- ・REACH Annex X VII: 該当フラグの内容のみ表示
- ・RoHs: 該当フラグの内容および均一物質中の最大濃度(%表記)を表示

(4) 物質情報更新ボタン

成分表シートの物質情報更新ボタンを押下すると、成分表の物質情報を、使用している外部リストの内容に更新できる。



物質情報更新時に確認ダイアログが表示され、「はい」を選択した場合は下記の情報が更新される。

- ・一般情報シート「使用書式」が Ver.4.0 に更新される
- ・一般情報シート「材質リスト」及び「物質リスト」のバージョン番号が、現在使用している外部リストと同じ数字に更新される。
- ・一般情報シート「GADSL」及び「JIG」が「対象とする」に更新される。
- ・成分表シートの該当フラグがすべて現在使用している外部リストの内容に基づき、上書き更新される。

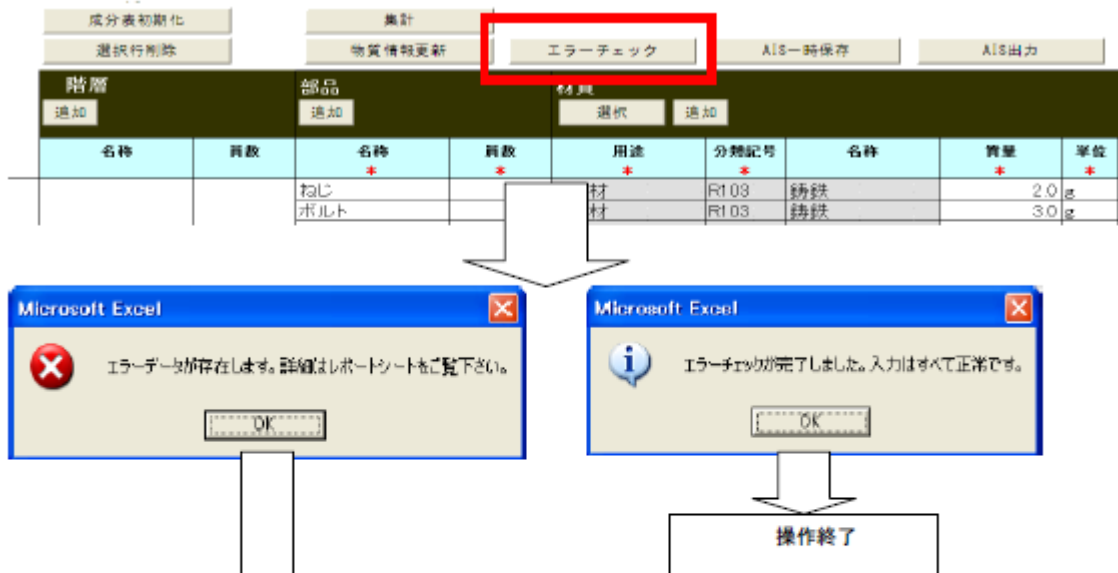
① 一般情報シート「使用書式」の更新

旧版 AIS であった場合、物質情報更新と同時に書式変換も行われる。これは、Ver.4.0 が旧版の物質リストに基づいて記載することを許可していないためである。

- ② 一般情報シート「材質リスト」及び「物質リスト」のバージョン番号変更
バージョン記載は、AIS を記入する際に、どの時点のリストに基づいて記載したかをしめすものである。物質情報更新により該当フラグが更新されるので、その時点で使用している外部リストの内容に基づいて記載したことになる。
- ③ 一般情報シート「GADSL」および「JIG」対象区分の更新
Ver.4.0 では GADSL 及び JIG についても必ず報告対象とすることが求められている。
旧版では「対象としない」が選択されていた AIS についても、物質情報更新して Ver.4.0 となることで報告対象となるので、実際に GADSL 及び JIG 該当について確認の上で情報流通を行うこと。
- ④ 成分表の該当フラグ更新
物質情報更新を行うと、成分表の該当フラグは現在使用している外部リスト内容に基づき上書き更新される。この場合、手入力された該当フラグも全て外部リストの内容に書き換えられる。SVHC の追加などで物質リストが更新された場合、既存の AIS の物質情報更新をもって改版することもできるが、記載内容が 100%でない場合には、それまで対象とされていなかった物質の情報が抜け落ちている可能性がある。仕入れ先から受領した AIS の物質情報を更新する際にはこの点に注意する必要がある。
- (注)物質情報の更新はあくまでも現在使用中の外部リストの内容で成分表を更新する。古い外部リストを使用している場合には最新とはならないので、外部リストが最新化どうかを確認してから実施すること。

(5) エラーチェックボタン

[エラーチェック]ボタンで、入力内容が AIS の出カルールから外れていないかをチェックすることができる。情報を入力したら、成分表シート of [エラーチェック]をクリックすると、一般情報シート、成分表シート、依頼者情報シートに入力された情報に不正がないかおチェックし、結果を表示する。



チェック結果

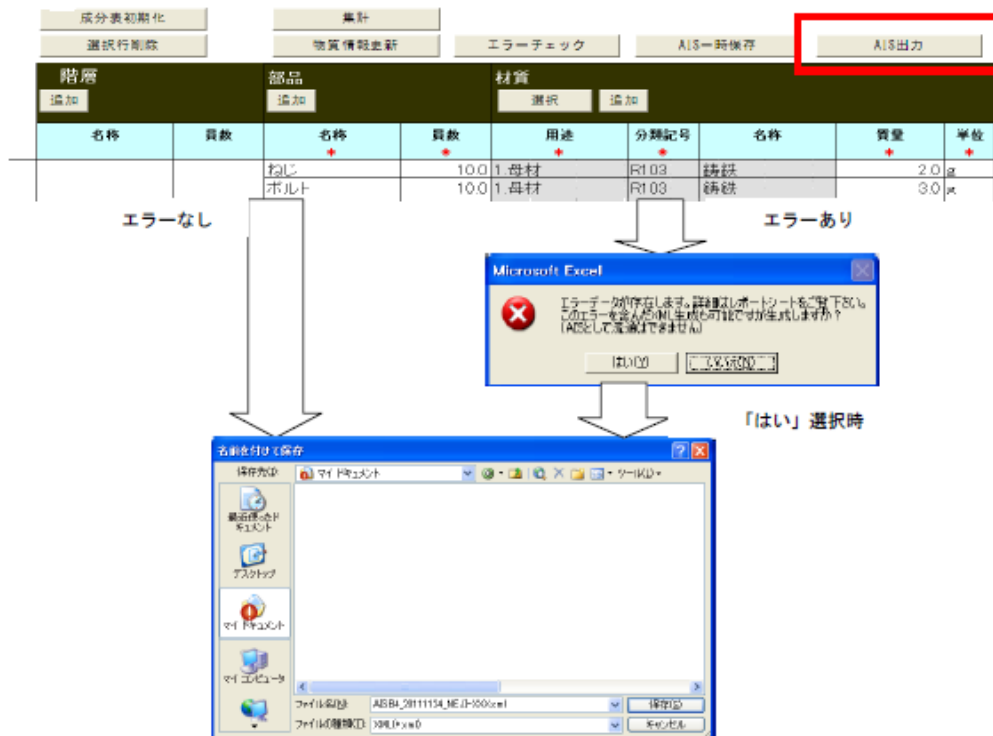
No.	種別	シート	行番号	項目名	内容
1	エラー	一般情報	6	使用書式	このAISは旧版であるため、このまま出力はできません。物質情報更新を行い書式バージョンを更新してください。
2	エラー	一般情報	16	会社名/英字表記	会社名/英字表記は200文字以下の半角英数字で入力してください。
3	エラー	成分表	10	物質/含有率	物質含有率が未記入です。
4	エラー	成分表	10	JIG/該当	JIG 該当記号には「R」、「J」、「A」のいずれかを入力、または空白にしてください。
5	エラー	成分表	12	JIG/該当	JIG 該当記号には「R」、「J」、「A」のいずれかを入力、または空白にしてください。
6	エラー	成分表	15	GADSL/該当	GADSL 該当記号には「P」、「D」、「D/P」のいずれかを入力、または空白にしてください。
7	エラー	成分表	15	適用除外	RoHS 該当物質の場合、適用除外の選択は必須です。

エラーがない場合には完了メッセージのみ表示される。エラーがあり場合には、エラーメッセージの後にレポートシートが表示されるので、内容確認後修正する。

(6) XML出力／一時保存ボタン

①XML出力

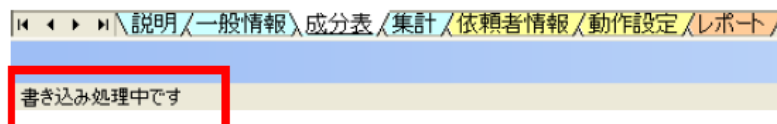
成分表シートの画面にあるボタン[XML出力]をクリックすると、数の保存先ファイル名の指定画面が現れる。ファイル名は、“AISA4_+製品型番”が自動的に付けられている。なお、入力データにエラーが存在する場合のファイル名は“AISA4__+ERROR__+製品型番”となる。出力時にエラーメッセージが表示される。



ファイル名は以下ようになる。

- ・正式版の原部品 AIS:「AISA4[出力日付]__[発行者型番].xml」
- ・正式版の複合化 AIS:「AISB4[出力日付]__[発行者型番].xml」
- ・エラーを含む原部品 AIS:「AISA4__Error__[出力日付]__[発行者型番].xml」
- ・エラーを含む複合化 AIS:「AISB4__Error__[出力日付]__[発行者型番].xml」

成分表の記載行数が多い場合、XML を出力する際に時間がかかる場合が。出力処理中は左下のステータスバーに出力中であることが表示される。



出力完了後、完了メッセージが表示される。



① XML の一時保存

成分表シートの[XML 一時保存]ボタンで、入力内容を XML ファイルとして一時保存することができる。この時には XML 出力時と異なり、エラーチェックは行われない。

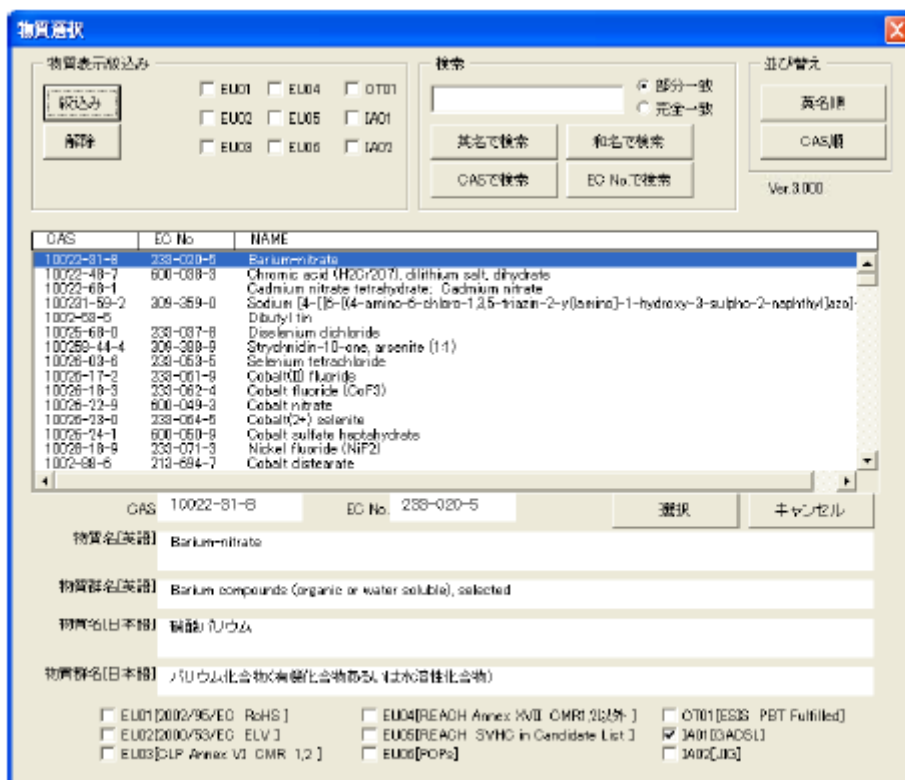
ファイル名は下記のようになる。

- ・一時保存の原部品 AIS:「AISA4__Temp__[出力日付]__[発行者型番].xml」
- ・一時保存の複合火 AIS:「AISB4__Temp__[出力日付]__[発行者型番].xml」

(注)一時保存であることやエラーを含んでいることは、ファイル名だけではなく内容にも記録されている。あくまで作業途中の状態を保存する目的のファイルなので、この形態で一般に情報流通させることはできない。

3-6. 成分表シートの選択画面

(1) 物質選択画面(詳細説明)



① 物質表示絞り込み

リストに表示する物質を該当法令の条件によって絞り込む(複数可能)。該当法令コードと法令名の対応は画面下部を参照のこと。

② 検索

現在画面内のリストに表示されている中から、指定文字列に該当する物質を検索する。物質の英語名、和名、CAS 番号、EC 番号のいずれかで部分一致/完全一致検索が可能。(検索ボタンを続けてクリックすると、その条件に合致する次の物質にフォーカスがる。)

③ 並び替え

リストの表示内容を物質の英名または CAS 番号順に並べ替える。(通常検索時は CAS 番号順)

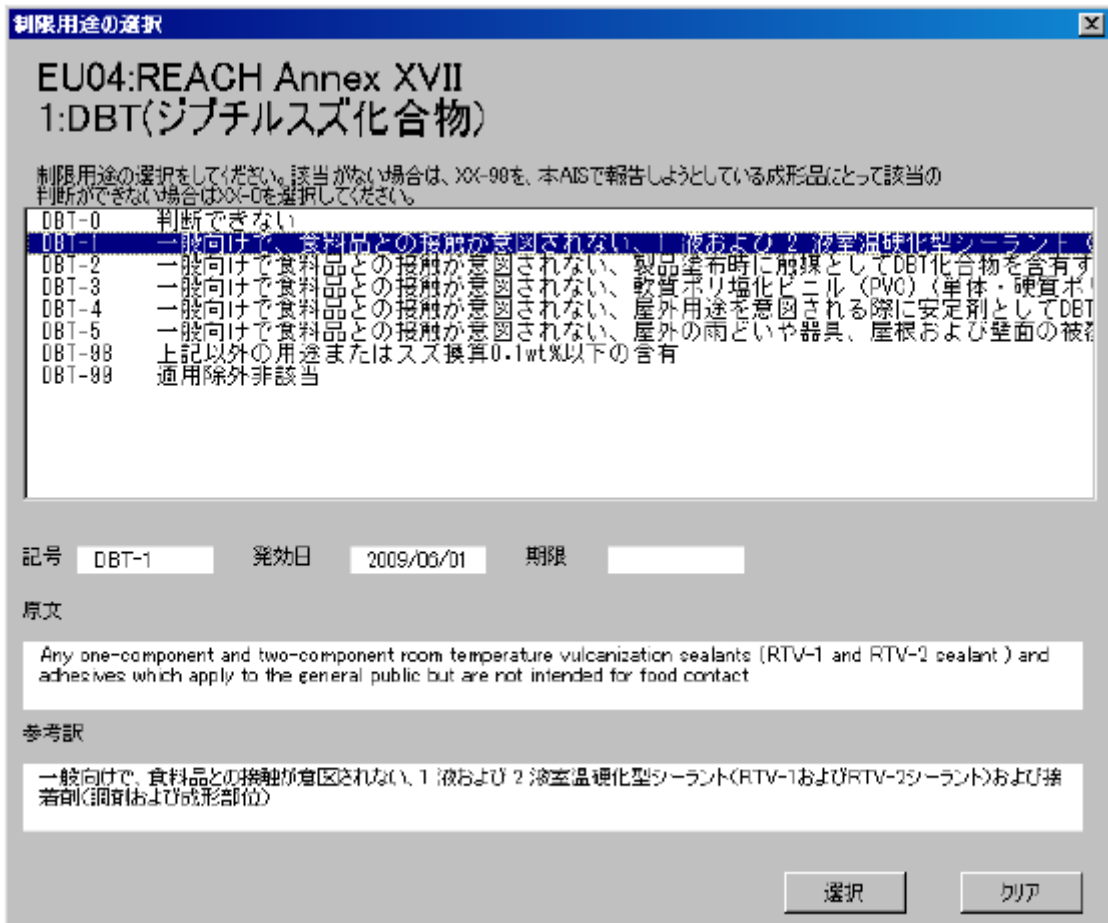
④ 選択

画面中央のリストから物質を選択すると、画面下部に詳細が表示される。内容を確認して[選択]ボタンで成分表に入力される。

(2) REACH Annex X VII / POPs Annex I 物質用途選択画面

REACH Annex X VII 及び POPs Annex I の物質選択画面の説明。

(REACH Annex X VII 及び POPs Annex I では選択肢の内容が異なるが、同じ画面が表示される。)



① 表示条件

物質用途の選択画面は、特定の CAS 番号でしか表示されない。

- ・該当カラムに「1」が入力されていること
- ・外部リスト内で、物質用途の入力が必要な物質として定義されていること。

一覧から選択時、物質用途の原文および参考訳が表示されるので、内容確認後[選択]で入力する。

内容を削除する場合は[クリア]を押下する。

(3) ELV の適用除外の選択

ELV 該当フラグが「1」である物質を選択した場合、ELV適用除外選択画面が表示される。

(成分表でELV該当フラグ「1」の適用除外欄を選択した場合にも表示される。)

① 選択条件

適用除外なし、閾値以下もしくはリストから適用除外コードを選択する必要がある。

- ・[リストより選択]を選んだ場合、リスト内から適用除外コードを指定して[選択]する。
- ・[適用除外無し]を選び[選択]を押すと、適用除外無し(No exemption)が入力される。
- ・[閾値以下]を選び[選択]を押すと、閾値以下(Below threshold)が入力される。

② 検索

検索条件に文字列を入力し[文字検索]ボタンを押すと、リスト内から入力した文字列を含む行が選択される。

③ 適用除外表示絞り込み

リスト表示を物質群で絞り込むことができる。絞り込みを解除する場合は[解除]を押す。

(注)旧版AISではELV備考欄に適用除外コードを直接入力できるが、Ver.4.0以降は選択式となっている。旧版のAISに入力されていた適用除外は、外部リスト内に完全に一致するコードがあれば逆引きして引き継がれる。

(4) RoHSの適用除外の選択

RoHS該当フラグが「1」である物質を選択した場合、RoHS適用除外選択画面が表示される。

(成分表でRoHS該当フラグ「1」の適用除外を選択した場合にも表示される。)

① 選択条件

適用除外無し、閾値以下もしくはリストから適用除外コードを選択する必要がある。

- ・[リストより選択]を選んだ場合、リスト内から適用除外コードを指定して[選択]する。
- ・[適用除外無し]を選び[選択]を押すと、適用除外無し(No exemption)が入力される。
- ・[閾値以下]を選び[選択]を押すと、閾値以下(Below threshold)が入力される。

② 絞り込み

絞り込み条件を選択、もしくは文字列を入力して[絞り込み]ボタンを押すと、条件に一致した適用除外だけがリストに表示される。

- ・適用除外のカテゴリのうち、カテゴリ-8、9(医療、監視測定機器)だけを対象として絞り込みができる。
- ・リスト表示を物質群で絞り込みできる。
- ・期限愛/期限外のいずれかを指定して絞り込みできる。適用除外コードの期限が設定されていない場合は期限内として取り扱われる。
- ・検索条件に文字列を入力すると、適用除外の参考訳に含まれる文字列で絞り込まれる。

③ クリアボタン

[クリア]ボタンで、成分表の該当フラグと適用除外を削除できる。

(注)旧版AISではRoHS備考欄に適用除外コードを直接入力できるが、Ver.4.0以降は選択式となっている。旧版のAISに入力されていた適用除外は、外部リスト内に完全に一致するコードがあれば逆引きして引き継がれる。

3-7. 依頼者情報シート

依頼者情報(任意)

		ひな形から読出
会社名		(社) 電線工業会
会社ID	登録機関ID	
	企業ID	
依頼部門	部門名	電線業界環境問題研究会
	住所	東京都中央区築地1-12-22 コンワビル6F
依頼部門 担当者	氏名	
	電話番号	03-3542-6035
	FAX番号	03-3542-6037
	メールアドレス	
提出年月日		2012-01-25

[ひな形から読出]をクリックすると、「会社名」から「メールアドレス」までの項目は、動作設定シートの「C. 依頼者会社情報ひな形」の欄に入力されている内容をコピーすることができる。
 なお、依頼者情報自体の入力は任意だが、入力した場合には会社名は必須となる。

3-8. 動作設定シート

(1) 起動時の設定

		設定を保存
言語設定		1:日本語
起動時に外部リストバージョンを確認		1:確認する
最大表示エラー数 *		100

① 言語設定

日本語、英語、中国語の中から、使用する言語を選択する。

② 起動時に外部リストバージョンを確認

ツール起動時に、読み込んでいる外部リストが最新バージョンか、JAMPのWEBサイトに接続し確認するかどうかを設定できる。初期値は「確認する」に設定してあるが、インターネットに繋がらない環境で使用する際には「確認しない」に設定した方が便利な場合がある。

③ 最大表示エラー数

(XML出力を含む)エラーチェック時、難度エラーを検出した時点で動作を止めるかを設定できる。サイズの大きなAISを読み込むとエラーチェックにも時間がかかるため、初期値は100件に設定してある。

(2) 発行者会社情報のひな形

発行者情報を入力する。ここで入力した内容は、「一般情報シート」の[ひな形から読出]ボタンをクリックすることで「一般情報シート」にコピーされる。

B.発行者会社情報ひな形

会社名	英字表記 *	Introducing JECTEC
	母国語表記	社団法人 電線総合技術センター
会社ID	登録機関ID	
	企業ID	
発行部門	部門名 *	研究開発グループ
	住所 *	静岡県浜松市北区新都田1-4-4
	電話番号 *	053-428-4684
	FAX番号	053-428-4690
	メールアドレス	ogata@jectec.or.jp
作成部門	部門名	
	電話番号	
追加情報		

(3) 依頼者会社情報ひな形

依頼者会社情報を入力する。ここで入力した内容は、「依頼者情報シート」の[ひな形から読出]ボタンをクリックすることで「依頼者情報シート」にコピーされる。

C.依頼者会社情報ひな形

会社名		(社)電線工業会
会社ID	登録機関ID	
	企業ID	
依頼部門	部門名	電線業界環境問題研究会
	住所	東京都中央区築地1-12-22コンワビル6F
依頼部門 担当者	氏名	
	電話番号	03-3542-6035
	FAX番号	03-3542-6037
	メールアドレス	

(4) 設定の保存

現在のツールの状態を保存したい場合、[設定を保存]ボタンをクリックすると、入力内容設定容を保存する。

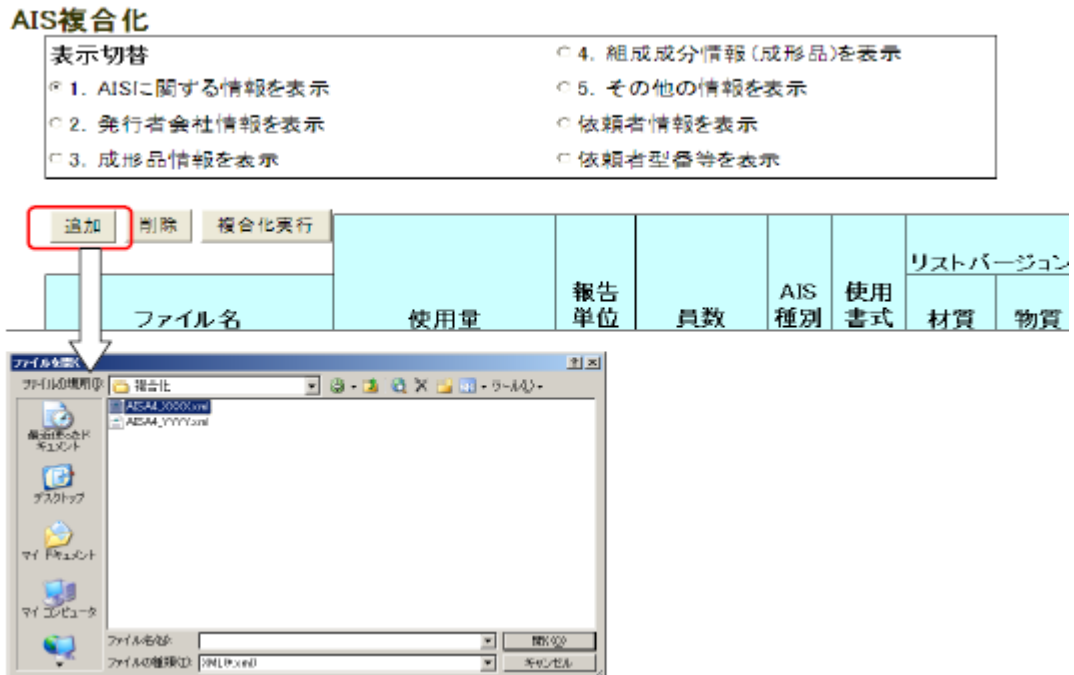
3-9. 複合化シート

説明シートで[AIS 複合化]を選択した場合、複合化モードで動作する。

(注)複合化処理は JAMP AIS Ver.3.1 までは「集合化」という名称で、その中の種類として「複合化」と「単純化」があった。Ver.4.0 から「単純化」が廃止され、「集合化」と「複合化」が実質的に同じ意味となったために、単に「複合化」と名称が変更されている。

(1) ファイルの追加

「ファイル名」欄のセルを選択した状態で[追加]ボタンをクリックすると、複合化対象の AIS ファイルを選択するダイアログが起動する。



複合化する AIS を選択し、[開く]ボタンをクリックすると、AIS の内容を読み込んで、シートに表示される。

ファイルは複数同時に指定することができる。

(2) 複合化に使用できないファイル

下記のファイルは複合化の元ファイルとして使用することはできず、ファイル指定時にエラー報告される。

- ① AIS Ver.3.1 以前の単純化形式のファイル
単純化形式のファイルは組成成分の情報が抜け落ちている可能性があるため、複合化の元ファイルとしては使用できない。
- ② AIS Ver.3.1 以前の GADSL または JIG を対象としていないファイル
AIS Ver.4.0 からは GADSL および JIG を報告対象とすることが必須となったため、これらを報告対象としていない旧版のファイルは複合化の元ファイルとしては使用できない。これらのファイルは編集モードで開き直し、物質情報更新処理を行うなどして GADSL/JIG の対象区分を更新することで、複合化の元ファイルとして使用可能となる。

③ AIS Ver.4.0 以降の一時保存形式の AIS ファイル

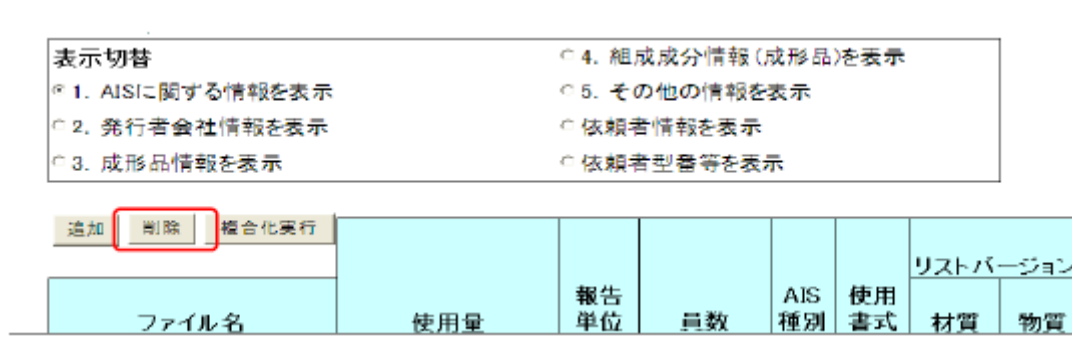
一時保存やエラーがある状態で出力した AIS ファイルは複合化の元ファイルとしては使用できない。

④ その他のファイル

MSDSplus など、AIS形式でないファイルは複合化の元ファイルとしては使用できない。

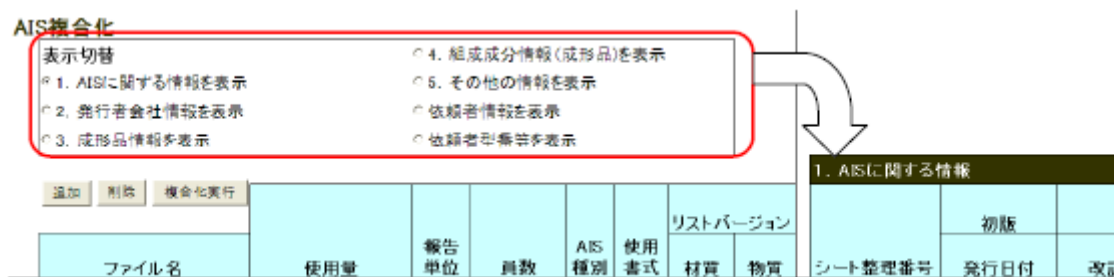
(3) ファイルの削除

[追加]ボタンで選択したAISを複合化対象から外したい場合、削除したい行を選択して、[削除]ボタンを押すと選択されていた行が削除され、複合化対象から外れる。



(4) 追加したAISの内容確認

ファイルを追加すると、そのファイルの一般情報の内容がシート右部に表示される。表示内容は画面上部の[表示切替]のラジオボタンを選択することで切り替えることができる。



(5) 複合化の実行

ファイルを1つ以上追加した状態で、[複合化実行]ボタンをクリックすることで、複合化が実行される。その際、使用量(報告単位が「個」以外の場合)と員数は入力必須である。

AIS複合化

表示切替

- 1. AISに関する情報を表示
- 2. 発行者会社情報を表示
- 3. 成形品情報を表示
- 4. 組成成分情報(成形品)を表示
- 5. その他の情報を表示
- 依頼者情報を表示
- 依頼者型番等を表示

追加 削除 複合化実行

ファイル名	使用量	報告単位	員数	AIS種別	使用書式	リストバージョン	
						材質	物質
AISA4_xxxxxx.xml		個	1.0	AIS	Ver.4.0	1.999	2.999
AISA4_yyyyyy.xml		個	3.0	AIS	Ver.4.0	1.999	2.999

1. AISに関する情報

シート整理番号	初版	
	発行日付	改訂
	2011/10/9	
	2011/10/9	

複合化実行後はAIS編集モードに移行し、編集用のシートが表示される。

以降の操作はAIS作成時と同様に行うこと。

4. AIS の提出・保管・維持

AIS の提出は、事前に川下ユーザーと提出形態(電子データ、紙、等)を確認して対処すること。

AIS は適切に保管するとともに、内容に変更があれば適時改訂し管理する。

提出した AIS は 10 年間保管する(REACH 規則 36 条 1 項では、「REACH 規則の義務履行のための情報は 10 年保管すること」とあります)。

5. 関連文書

本マニュアルは下記のドキュメントを参考にして作成したものである。

よって、本マニュアルの記載事項に疑義が生じた場合には、下記ドキュメントで確認すること。

JAMP-TR-AIS004-2012-1 JAMP AIS入力支援ツールVer.4.0 操作説明書 (2012/01/12)

○改訂履歴

- | | | |
|------------|-----|---|
| 2008.11.20 | 初版 | 電線工業会 総合政策部会で承認され、発行 |
| 2008.12.24 | 第2版 | JAMP MSDSplus および AIS が ver.2.0 から ver.3.0 に改訂されたので、これに対応。
JAMP 管理ガイド委員会からの初版に対する意見に対応(JAMP 意見書を参照)。 |
| 2009.03.27 | 第3版 | JAMP AIS 入力支援ツール: AIS_input_support_Ver□□□.xls の名称が外国語版の
公開に伴い変更されたので、修正した。また、一部表記も変更されたので修正。
“リストバージョンの確認”について、解説を追加した。 |
| 2010.10.08 | 第4版 | SVHC が増えたことによる JAMP 管理対象物質や JAMP AIS の改訂に伴い、当該
附属書1を改訂する。
当初、“組成成分情報入力対照表”は変更が多いと想定し、附属書2に分離したが、
その後の経過をみると対照表の追加はほとんどなく、代わりに SVHC 追加等により
JAMP 文書やツールが改訂され全体を改訂しなければならなくなっており、分冊に
する理由がなくなったため、附属書1と附属書2を統合した。 |
| 2012.01.25 | 第5版 | JAMP MSDSplus および AIS が Ver.4.0 に改訂されたので、これに対応。
記載内容も大幅に見直した。 |

以上